

	後楽園事務所	岡山県 郷土文化財団
担当	川井・真柴	栗坂・小林
電話	086-272-1148	

お 知 ら せ

^{いにしえ}古の田植え風景を楽しむ～後楽園「^{まつり}お田植え祭」～を開催します。

岡山後楽園では、毎年恒例の「お田植え祭」を開催しますので、お知らせします。
なお、本件については、岡山中央署記者クラブにも本日発表します。

記

1 概 要

昭和37年から毎年開催している恒例行事で、新見市の太鼓田植保存会の皆さんに、伝統の田植え踊りと太鼓田植を披露していただきます。

男衆の打つ太鼓と田植え歌に合わせて、菅笠に紺がすり姿の早乙女がテンポ良く手植えをしていきます。また、一般の方も早乙女と一緒に田植えを体験できます。

(1) お田植え祭

- ① 開催日 令和8年6月14日(日)
※雨天の場合でも行いますが、暴風等の場合には中止になることがあります。なお、中止の場合には、決まり次第公式ホームページにてお知らせします。
- ② 時 間
 - ・午前の部 11:00～12:00
「哲西はやし田植え保存会」(沖津巧士会長)による田植え踊りと太鼓田植の実演
 - ・午後の部 13:00～14:00
「神代郷土民謡保存会」(土屋俊介会長)による田植え踊りと太鼓田植の実演
- ③ 場 所 後楽園内 井田(4区画 約500㎡)
- ④ 田植え体験
午前の部・午後の部とも、保存会による太鼓田植えの実演の中で、一般の方も早乙女と一緒に田植えを体験できます。
(定 員) 各回とも先着30名
(対 象) 小学生以上
(参加方法) 当日会場にて受付
(体験時間) 午前の部 11:30～12:00(受付11:00～)
午後の部 13:30～14:00(受付13:00～)
※定員に達し次第締切
(参 加 費) 無料
- ⑤ その他
保存会の太鼓田植えは、平成20年に岡山県指定重要無形民俗文化財に指定されています。裏面に続く

<参 考>

○ 後樂園の田植えと井田

後樂園の園内には、築庭当初から広く田畑が作られ、元禄2年(1689年)夏には田植えが行われたという記録も残っています。近隣の農家から早乙女を招いて定期的に田植えの行事を行い、藩主がその様子を延養亭や流店の二階から見ることがもありました。

井田は中国周時代の田租法で、四角形の田を9区画に分けて、中央の田を年貢として納めるための公田として8軒が共同で耕作し、周囲の8区画は各家の私田として耕作するというものです。聖人の治世に行われたとされる理想の田租法で、儒教の精神をあらわすものです。

後樂園の井田は幕末近くに作られたもので、文久3年(1863年)の絵図に初めて描かれています。かつては園内に広く田畑が作られていましたが、その後、芝生地に変わり、明治17年(1884年)に後樂園が岡山県に譲渡されてからは、井田だけがかつての田畑の名残をとどめるものとなりました。

○ 後樂園のお田植え祭

現在の「お田植え祭」は、古式ゆかしい田植えを現在の人に^し偲んでいただくため、昭和37年から始めたもので、毎年6月第2日曜日に開催する恒例行事となっています。

昭和51年から新見市哲西町の「哲西はやし田植え保存会」の方々に、昭和61年からは新見市神郷の「神代郷土民謡保存会」の方々にもご協力いただき、今ではすっかり見られなくなった、「さげ」と呼ばれる男衆の打つ太鼓の音と田植え歌に合わせて「早乙女」による伝統の田植え踊りや太鼓田植えをご覧いただいております。

なお、平成18年からは、一般の方も田植え実演の中で早乙女と一緒に田植えを体験していただいております。